

業務用エコキュート導入によって、不便な問題が解消。
予想外のコストメリットには驚きました。



社会医療法人生長会 阪南市民病院さま

ガスによる既存の蒸気ボイラと、電気式業務用エコキュートを組み合わせた、給湯システムのハイブリッド化によって、コスト削減と高い利便性を実現。

社会医療法人生長会 阪南市民病院さま >> 設備・機器導入のポイント

- **ハイブリッド給湯システム導入**により省コストを実現
- 夜間のボイラ運転を停止して階下の病室への**稼動音を抑制**
- **業務用エコキュートの導入**により、早朝の給湯がスムーズに

電気・ガスの契約先を一本化し、省コストを実現。

平成27年に関西電力さんが電気料金の値上げを発表されたこともあり、電力の購入先やコージェネレーションの導入を検討しました。コージェネレーションは補助金制度があったものの、イニシャルコストが高額であることと設置場所の補強が必要であったため断念しました。翌年の平成28年になって翌年4月からガスも自由化になるというニュースが入ってきました。関西電力さんもガス市場に参入されるということでしたので、これを機会に価格交渉をするため、電気とガスの契約一本化をしようと考え、見積もりを依頼しました。非常に頑張ってくださいまして、結果、電気・ガスともすべて関西電力さんをお願いすることになりました。



地域連携室 室長
小川 貴士さま

エコキュート設置はメリットばかり。導入もすぐに決定しました。

当院はガスのボイラ2基を上層階の機械室に設置して、すべての給湯をまかなっていたのですが、機械室の階下の入院患者さまから、夜間のボイラ運転音が気になるという声が出ていました。

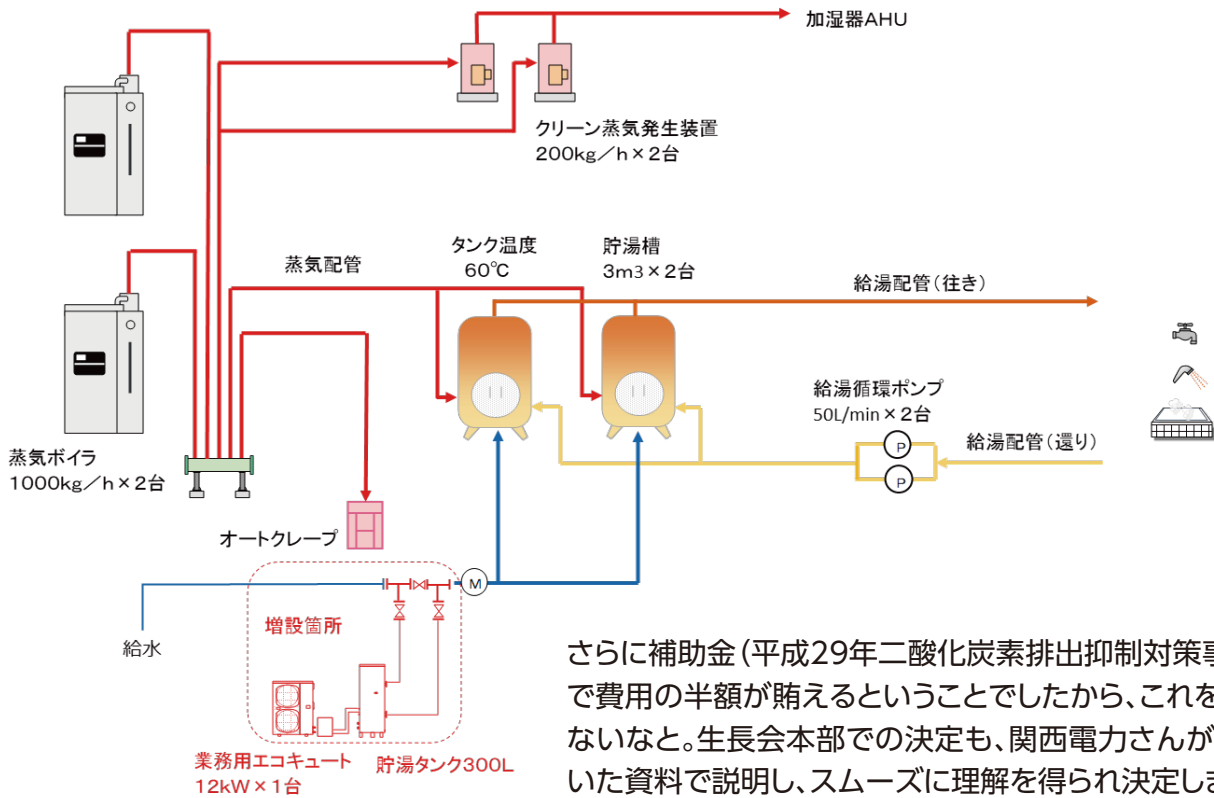
関西電力さんに相談したところ、提案いただいたのが「**給水余熱によるハイブリッド給湯システム**」です。病院内の給水システムに、電気式業務用エコキュートを組み合わせるといったものでした。

夜間はボイラを2基とも停止させてエコキュートを利用することで、夜間の音の問題も、明け方の給湯問題もすべて解決し、さらにボイラを設置している機械室も涼しくなり、コスト削減にもつながるということでした。



水温を55度で維持できる貯湯槽(2基)

給水予熱によるハイブリット給湯システムについて



さらに補助金(平成29年二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金)で費用の半額が賄えるということでしたから、これを導入しない手はないなど。生長会本部での決定も、関西電力さんが作成協力いただいた資料で説明し、スムーズに理解を得られ決定しました。

予想外のコストメリットに驚きました。

設置してから9カ月ほどたちますが、現在は非常に満足しています。運転開始から約7カ月間の稼動実績を拝見しましたが、予想外の数字でした。

実はコストメリットについては正直さほど期待しておらず、提案書でいただいた金額の8割ほどを達成できればいいかなと思っていました。というのも、すでに音や利便性の面で大きなメリットを感じていたからです。しかし実績を見ると、**提案書では12カ月で達成できるとされていた数字が、7カ月でほぼ達成。驚きましたね。**

担当者のコメント



大阪南法人営業本部
藤井 孝蔵

この度は、弊社提案をご採用頂き、心よりお礼申し上げます。

今後も、日ごろのコミュニケーションを大切にしながら、社会医療法人

生長会阪南市民病院様を始め他のグループ病院様への省エネ・省コスト化について、弊社の持つリソースをフルに活用し、最適なお提案を行って参ります。

社会医療法人生長会 阪南市民病院さま

住所／大阪府阪南市下出17
電話／072-471-3321(代)
<https://www.seichokai.or.jp/hannan/>



阪南市・泉南市・岬町における公的
地域中核病院として、一般急性期
医療や救急医療などを担う総合病
院。阪南市立病院が指定管理者制
度を導入し、経営母体を変えて平成23年4月より「社会医療法人生
長会 阪南市民病院」になった。総合診療科をはじめ、消化器内科、小児
科、外科・消化器外科、リハビリテーション科など21の診療科をもち、
病床数は185床。津波対策として2階以上に医療機能を配置するなど、
災害時の医療提供にも備えている。